

先輩から、どうぞお先に！

この市報が届く7月初頭には、65歳以上の高齢者のワクチン接種が順調に進み、「集団接種」は予定していた26会場がすべて終わり、各医療機関の「個別接種」も本格化して、飛躍的に接種率が高まっていると思います。

混乱のコロナ禍を脱する唯一の切り札となるワクチン接種が、いよいよ65歳未満のみなさんに拡大していきます。当市の胸を張れるこれまでの進捗状況は、何より南魚沼市医師会を始め、医師や看護師、薬剤師など医療関係者の献身的な協力があってこそ。さらに、順番待ちなどの不安な気持ちを抱えながらも、自制心を持って冷静な対応をしてくださる市民のみなさんのおかげです。着実に事業を進めていくための大きな力となっております。心から感謝いたします。接種が済んだ人から少しでもホッとしていただけるように、また疲弊する温泉事業者の経済支援にもなるようにと、市が用意した「温泉利用券」の配布には、ライオンズクラブやロータリークラブ、雪国青年会議所のみなさんが手弁当

のボランティアでお手伝いを。運営には、昼夜を分かたず全力で取り組むワクチン接種対策室や保健課を先頭に、市職員も全庁体制でまさに未曾有の大プロジェクトに奮闘しています。「何としてもこの閉塞感から明るきに転じさせる！」みんながその思いで。

2回の接種を終えたみなさんが、会場のスタッフに声をかけてくださるたくさんさんの「ありがとう」の言葉。何より、これほどに変わるのかと思うほど、接種後に明るくなった表情。それを見るにつけ「暗闇の先にやっと明るい光が差し始めた」と思うのです。この接種事業の完遂で、当たり前前の日常を取り戻すまで、あともう少しです。

「敬老の日にはみんなが集えるかもしれない」「お茶飲みもしようじゃないか」ワクチン接種が済んだ年齢層は同級会だって。もちろん、連れ立って温泉にも行ってほしい。できたら「プレミアム付商品券」でお食事なども。

下を向かされ続けた一年半。解放の喜びを、まずは先輩たちから。

シリーズ 第99回

国際大学留学生 お国自慢コーナー ~ boast of my country ~

ナイジェリア連邦共和国 アデドットゥン アヨさん



私の国はこんなところ

ナイジェリアの人口はおよそ2億人で、アフリカで最も人口の多い国です。250以上の民族・部族が居住し、500以上の言語が使われています。独特の歴史、多様な文化、祭り、ファッション、料理があります。また非常に豊富な種類の動植物が生息しており、チョウは1,000種を超えます。観光地では、オーストラリアのエアーズロックの2倍の高さの巨大な1枚岩「ズマロック」や「オスン・オソボ聖林」、「奴隷歴史博物館」が有名なほか、滝、温泉、洞窟、城壁、城、さまざまな祝祭があります。よく食べられる料理は、ジョロフライス（トマト風味炊き込みご飯）、山芋とエグシ（砕いたメロンの種）のスープ、ヤシ酒などです。



南魚沼市に住んで感じたこと

南魚沼の人たちは礼儀正しく、親切なことがとても印象的です。自然豊かな風景、特に季節ごとに色が変わる植生と、街を囲む大きな山々、桜、雪、スキー体験がいい思い出です。ラーメン、うどん、寿司、焼肉、おにぎり、たこ焼き、カレーライスが好きです。スイカなどの新鮮な果物や野菜のおいしさは言うまでもありません。

編集後記

6月下旬の夏至が過ぎ、いよいよ本格的な夏が近づいてきました。

今年も遠方への旅行などは難しいですが、飲食店のテイクアウトを楽しんだり、市内の景観スポットに足を運んだり、身近なところでこの夏を思い切り楽しみたいと思っています。(M.K)

今月の表紙

6月4日(金)、市内で東京2020オリンピック聖火リレーが行われました。当日は雨が降る中での開催となりましたが、14人のランナーが聖火を掲げ、力強い走り希望の道をつなぎました。

市民の動き 令和3年5月末日現在 ()は対前月比

○人口 54,952人 (-6人) / 男 26,873人 (-11) 女 28,079人 (5) ○世帯数 20,131戸 (14)